

1. (ピンポンとドアチャイムが鳴る。ドアを開けると麻衣がいる)
2. ごめんね、遅くなっちゃった。そそ、バイトがちょっと長引いちゃって。
3. あ、最近始めたんだバイトいってなかったっけ？
4. 今日は凄いいお客さんたくさん来てね。大変だったんだよ。
5. うん、えへへ。でも君と会う約束してたから、頑張っちゃった
6. 君と会えるって考えただけで力がモリモリ湧いてくるんだ
7. ふふ……あ、入ってもいい？ ありがとう。
8. (部屋に入ってくる麻衣)
9. お邪魔しまーす。わあ、ここが君の部屋なんだ……うん、なんか緊張してきちゃった。
10. わあすごい……これが男の人の部屋かぁ……え？ ふふ、だって男の人の部屋なんて、これが初めてだもん。君の部屋が初めて
11. 夜ごはんもう食べた？ 私はバイトの休憩中に食べちゃったからさ……あ、もう食べたんだ。よかった。君だけお腹すかせて待ってたらどうしようって思ってた。
12. あ、あのね……いきなりでごめんんだけど……シャワー借りてもいいかな。
13. 今私、バイト終わりで汗臭くて……それに、今日はお泊りだし、ね？ いい？
14. うん、ありがと。いきなりごめんね。
15. (麻衣を風呂場まで連れて行く)
16. タオルに、着替えまで？ ほんとにいいの？ ふふ、君ってほんと優しいね。ありがとう。
17. じゃあ、シャワー借りるね。
18. (シャワー音とか、鼻歌とか……)
19. ふー、さっぱりした。ううん、ちょうどいい湯加減だったよ。
20. あ、そうだ……これありがと。Tシャツ。
21. すーっ……ふふ、君の匂いがする。え？ うそうそ。洗剤のいい香り。でもなんか……ドキドキするかも。
22. ねえ、隣、座ってもいい？
23. (主人公の隣に座る麻衣)
24. ちょっと、なんで避けるのー。こっち、来て？もう私たち付き合ってるんだから
25. (主人公にすり寄る麻衣)
26. ん……あったかい？ お風呂上りだからじゃない？
27. ふふ……ねえ、聞こえる？ ほら、君の心臓……トクトクって。緊張してるの？
28. え、私？……うん、緊張……してる、よ。だって、君と初めてのお泊りでしょ？ それに……ううん、なんでもない。
29. 親には、友達ん家に泊まるって言うってあるから大丈夫だよ。
30. あはは、うちの親戚しいから、彼氏の家、なんて言ったら絶対許してくれないもん。
31. ううん……いいの。私が、君と一緒にいたいから。これくらい大丈夫だよ。心配しないわ。

32. だって、大学も違うし、バイトも忙しいから、なかなかゆっくり出来ないでしょ？
33. (さらに主人公にすり寄って)
34. ずーっと、君と一緒に、ゆっくりしたかったんだ……こうやって、隣で、手を繋いで……指を、絡めて……ぎゅって握って……
35. ちゅ……
36. ……好き、だよ……大好き……
37. ちゅ、ちゅ……
38. ……もっと、したい。おねがい。
39. うん、いいよ……もっと、うん……
40. ちゅ……ちゅ、ちゅ……んっ……
41. 舌、すごい柔らかい……
42. ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる
43. 君、すごい汗かいてる……シャツ、びっしょりだよ。脱ぐ……？ いいよ、脱がせてあげる。
44. (衣擦れの音)
45. ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる
46. (ベッドに倒れ込んで)
47. はあっ……あっ……すごい……ふふ。ちゅ……んっ……
48. 君の、うなじ……はむっ、んっ……じゅるじゅるちゅる……
49. くすぐりたい？ ビクッとしてたね。
50. ふふっ……うん……ほら……
51. はむっ、んっ……じゅるじゅるちゅる……
52. はあっ……好き。君のことが、好き。大好き……ねえ、ドキドキしてきた？ 大好き、君のことぜんぶ。
53. 君の、耳。声聞こえる？ 息も……はあっ……んっ……じゅるじゅるちゅる……かわいい。
54. 耳たぶも……はむはむ。好き……じゅるじゅるちゅる……ちゅ、んっ……はあっ……
55. どうしよ、私、こんなの……おかしくなっちゃったのかな。ドキドキが止まらないよ……好き……君のことが、好きだよ……ちゅ……んっ、はあ……じゅるじゅるちゅる……
56. ほら、君の耳、うなじ、胸、お腹……腰……それに……ここ、すごいおっきくなってる。
57. 私とキスして興奮しちゃったのかな？ ふふ可愛い
58. ね、もっとキスしよ？
59. ちゅ、んっ、はあっ……ん……ちゅ、じゅるじゅるちゅる……ちゅ、んっ、はあっ……ん……ちゅ……
60. うん、服脱ぐね。
61. (衣擦れの音)

62. わ、私の裸……うん……恥ずかしいから……ん……キス、して……そしたら見えないから。
63. ちゅ、んんっ、はあっ……ん……ちゅ、じゅるじゅるちゅる……ちゅ、んんっ、はあっ……ん……ちゅ……はっ……
64. いれるの？ うん……私、初めてで、その……うん、大丈夫。君なら、何されたっていいよ……大好き。
65. ちゅ、んんっ、はあっ……ん……ちゅ、じゅるじゅるちゅる……
66. あっ、ごめん……コ、コンドームはちゃんとつけてほしくて……
67. うん、ありがと。いいよいれて……んんっ……んっ……はあはあはあ……あっ……うん……あっ……あっ、んっ……
68. すごい……中、入ってきてる。君の……あったかい……
69. ねえ、ぎゅってして……はあっ、幸せ……
70. うん、いいよ……あっ、あっ……んっ……っ、はあはあはあっ……キス、して？
71. んっ……ちゅ、じゅるじゅる……
72. (段々と早くなって)
73. はあはあっあっ……はあはあはあっ……んっ……うん、うん……あっ……
74. はあはあはあ……ちゅ……んっ……はあっ……
75. 気持ち良かった？ うん、そう、ふふ、嬉しい。
76. 大好き……大好きだよ。君と一緒になれてよかった。
77. ちゅ、ちゅ……
78. ううん、シャワーはあとでいいや。もう少し……君とぎゅってしたい。
79. ねえ、来月どこ行こっか。え？ 君の誕生日でしょ。ふふ。私がサプライズしてあげる。
80. どこがいいかなあ。二人で温泉でも行く？ 美味しいごはん食べて、一緒に色んなところデートして……ね？
81. ふふ。うん。プレゼントも楽しみにしててね。最高の誕生日にしてあげる。
82. あのさ、明日も会える？ 泊まりじゃなくても……ここで、二人だけで、一緒にいたい。
83. ほんとに！？ うん、わかった。あっ、ごめん明日サークルの歓迎会だったんだ……
84. え？ 待っててくれるの？ うん……ありがと。嬉しい。じゃあ、歓迎会終わったら連絡するね。
85. うん……大好きだよ。ちゅ……
86. また明日ね

【彼女に忍び寄る男】

○サークル歓迎会会場

87. (やって来る麻衣)

88. えっと……テニスサークルの歓迎会って、ここだよね？

89. すみません、ここ、テニスサークルの……あ、そうですか。ありがとうございます。

90. うん、良かった。合ってるみたい。もう始まってみたいけど……緊張するなあ。

91. (会場のドアを開ける麻衣)

92. わあ……すごい、人がいっぱい……これが飲み会……はじめてだから、ドキドキするな……

93. あのー、すみません。ここ座ってもいいですか？

94. (祥吾の隣に座る麻衣)

95. はじめまして。経済学部の一年の、神山麻衣って言います。

96. えっと、あなたは……あ、三年生なんですね。えっ、同じ学部なんですか？

97. 祥吾さん……あっ、すみません。祥吾先輩、ですよ。よろしくお願いします。

98. あの、ビールは……ごめんなさい。はい、苦いの苦手で……えへ。

99. え？ わあ……先輩、ありがとうございます。私のためにわざわざ頼んでもらっちゃって……。

100. ええ、はい。そうなんです。昔からテニスやって。ふふ、ヘタクソなんですけどね。だからこの大学にもテニスサークルあるって聞いて、すごい嬉しくて。

101. あ、お酒きたみたいですよ。

102. かんばーい！

103. (グラスがぶつかる音)

104. あ、先輩も。乾杯っ。

105. (小さくグラスがぶつかる音)

106. ごくごくごく……すごいこれ、甘くておいしい。

107. 先輩、すごい腕の筋肉ですね。テニスやってれば当たり前、ですか？ でも私、全然筋肉つかなくて。

108. え？ 触っていいんですか？

109. じゃあちょっとだけ・・わあすごいゴツゴツしてて硬い・・・

110. わっ。やめてくださいよ。女子の腕触ろうとするなんて。だ、だめに決まってるじゃないですか。

111. 手もダメですよー……わっ、先輩、手もすごいおっきいですね。

112. え、もう一杯？ はい、じゃあ同じやつでお願いします。

113. あの、そっちにあるお皿、取ってもらってもいいですか？

114. (麻衣、ガタツと机にぶつかったり)

115. あっ、ごめんなさい。ちょっと酔ってきちゃった。頭がふわふわしちゃって。

116. いえいえ、大丈夫ですよ。先輩に迷惑かけるようなこと、しませんから。

117. はい、それ頼んだの私です。ありがとうございます。

118. ごくごくごく……おいしい……

119. ちよっ、ちよっと、先輩近いですよ。飲みすぎなんじゃないですか？ ほら、起きてください。

120. やっ……やめてください！ セクハラですよ、セクハラ。もう……だめですつてば。

121. そ、そうですよ……私、彼氏いるんで。そんなことできませんよ。

122. え？ 二次会、ですか？ すみません、彼氏と約束があつて……

123. そうなんです、すごく優しい人で……えへへ。はい。高校の卒業式の日に告白されて付き合つたんです。

124. 私もすっごい大好きで、大切な彼氏です。うわ、恥ずかしい。すみませんこんな話して。

125. え？ 翔吾先輩と彼氏どっちの方がイケメンかつて？

126. うーん・秘密です♡うふふ

127. あ、でも体は翔吾先輩の方が遅しいですよ

128. 男の人って感じがします

129. ごくごくごく……

130. ふぁ……どうしよ、すごく眠くなつてきた……ん……

131. はい……大丈夫です。ちよっと調子に乗つて、飲みすぎちゃったかも……

132. すーすー……すみません先輩……そんな、大丈夫ですよ。一人で帰れますから。それに……彼氏も待つてくれてるし……

133. (遠くで電話の着信音(主人公からの))

134. ん……電話、ですか？ 彼氏からかも……はい、あとで……出ますから……すみません眠くて……すーすー……

○ホテル・部屋

135. (ベッドで目覚める麻衣)

136. ん……祥吾、先輩……？ すみません私、あのあと寝ちゃったみたいですね。頭が、ふわふわして……

137. あれ、ここどこですか？ ホテル……？

138. あ、あの……私、帰らなきゃ。すみません。彼氏が待つてるんで

139. (麻衣に迫る祥吾)

140. やだっ、先輩！ 離して下さい！ こんなの、だめですよ。やめてくださいっ……いやっ……

141. (あ、先輩の腕太い・・彼氏君の腕と全然違う・・)

142. え・・わたしのことが好き？ 一目惚れした？

143. 私彼氏いるっていつてるじゃないですか・・

144. 今だつて私の帰りを一人で待つてるんです

145. そんな真剣な目でみつめないでください・・こんな遅い腕に抱えられてそんな目で見られたら

146. あっ……ちゅ、んんっ、はあっ……ん……ちゅ、じゅるじゅるちゅる……ちゅ、んんっ、はあっ……ん……ちゅ……はっ……

147.

【様子がおかしい彼女】

○ショッピングモールとかカフェとか

148. (デート。お茶している主人公と麻衣)

149. ごめん遅れちゃった、えっと・・ちよっと家の用事があった・

150. 次からはおくれそうなときれんらくするから、ごめんね

151. ふふ、ありがとう優しいね

152. え、なんか疲れてみえるって？

153. き、気のせいじゃないかな？多分昨日飲みすぎじゃったせいかも

154. それよりこのカフェ、前から来てみたかったんだあ。君と一緒に来れてよかった。お店の中もすごい可愛いでしょ？

155. ごくごく……紅茶も、すごい美味しい。はむっ……ケーキもすごい美味しいね。

156. ふふっ、ほら、ほっぺ。クリームついてるよ。違う違う、そっちじゃなくて……もう、こい。

157. うん、取れた。

158. 昨日はごめんね。あなたの家に寄るって言ったのに

159. う、うん、歓迎会はすごい楽しかったよ。飲み会ってあんな感じなんだね。私初めてでさ、すごい緊張しちゃって。つついとお酒飲みすぎちゃった。えへへ。

160. 君からの電話も全然気が付かなくて……えっと、そう、盛り上がって二次会まで行っちゃったんだ。それで連絡するの忘れちゃったの……ほんとごめんね。

161. うん……大丈夫だよ。先輩たちもみんな良い人だったし。

162. え？ ううん、全然元気だよ。ほら、元気いっぱいでしょ？

163. うーん、そうだなあ。ちよっと頭痛くて……二日酔い、かな？ えへへ。

164. あっ、ねえほら。ここ。前、君が行きたいって言ってた水族館。今度行こうよ。

165. うん、いつにしようか。

166. あっ、ごめん。その日は無理かな……ううん、バイトのシフト入って……。

167. そう。バイト、増やしたんだよね。

168. えーっと、ほら……服とか色々買いたいし、サークルの飲み会代も結構お金かかるかなと思うて。

169. うん……ごめんね。

170. あっ、ここは？ 来週の日曜日。うん。行ける？ やったあ。楽しみっ。

171. (ラインの通知音(祥吾からの呼び出し))

172. あっ……うん、えっと……バイト先の店長から。シフト、今日の夕方から入れないかって。

173. 今すごい人減ってて、なるべく協力してあげたくて。

174. まだ会ったばかりなのにごめんね、でもすぐ来いって言われてるから

175. もう行くね

176. 顔が赤い？私が？ き、気のせいじゃないかな。

177. (しばしの間があって)

178. あのさ……君に相談したいことがあって……その……私……。

179. え？ もうっ、そういう話じゃないよ。茶化さないで。もっと真剣な話なの。

180. ん……うん、なんでもない。やっぱり君には……言えないや。

181. ま、まだ連絡するね。うん。じゃあ、また、日曜日に水族館でね。

182. ……ばいばい。

○水族館・外

183. (人混みの音。着信音が鳴って、電話に出る主人公)

184. ……もしもし、私だけど。え？ あ、もう水族館にいるんだ待たせちゃってごめん……

あのね、もっと早く君に電話しなきゃと思ってたんだけど……今日私、水族館行けなくなっちゃって……

185. 1時間くらい待たせちゃってごめんね

なんでってそれは、その……あっ!?!?♡

186. ……んっ……ふうふう……

187. ううんっ、なんでもない、あっ……んんっ……なんでもないから。はあっ……

188. あの……っ、あのね……んっ、んんっ……ふっ……はあはあ……はっ……ごめ……今日

は……んっ……急に、家の用事が……んっ……出来ちゃって……はあはあ……うん……

……ごめんね。

189. うっ……はあはあ……うん、また……あっ……

190. (以下、パンッパンッなどと音が聞こえて)

191. んんっ、はあっ……っ……あっ♡ ああっ♡

192. はあっ……音？ う、ううん……んっ……っ……何も聞こえないよ？ うん……んん

っ、はあっ……っ……あっ♡ ああっ♡ 君のほうの音じゃない？ 水族館の。

193. んっ、はあっ……っ……あっ♡ ああっ……♡ うん、きつとそうだよ、んんっ、はあ

っ……っ……あっ♡

194. そうだね、また明日……明日、会おうね……あっ♡

195. んんっ♡……うん……はあっ、今？……今は、んっ……はあはあ……家、だよ……

196. んっ……大丈夫……はあっ、あっ、はあはあはあっ……いっ♡……ごめん、お、お父さ

んがっ……呼んでるから、いくね……あっ、あっあっ♡ んっ♡ はあはあはあ……あ

っ、あっあっ♡じゃあもうイクから んっ♡

197. 今日のデートは中止で

198. (ブツツと電話が切れる)

○主人公自宅

199. (ピンポンとドアチャイムが鳴る。ドアを開けると麻衣がいる)

200. お待たせ。昨日は、ほんとごめん……デートぶっちっちゃって

201. 1時間くらい水族館で待たせちゃってよね……怒ってる？

202. 怒ってない？ よかった……ありがとう。

203. (主人公に抱きつく麻衣)

204. え？キスしたいの？いいよ

205. ちゅ……

206. ちゅ……ちゅ……ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる

207. 前よりもキスが上手くなったって？そ、そうかな？きっと君として上手くなったんだ
よ

208. じゅるちゅるじゅる

209. そうだね最近してなかったもんね、ごめんねバイトが忙しくて

210. ちゅ……ちゅ……ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる

211. 手、繋ぎたいの？いいよ……君の指に、私の指が絡まって……ちっちゃいね君の手

212. ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる

213. 耳舐めてあげる……あーんっ、はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる

214. 気持ちよくなってきた？ もーっと、舐めてあげるね。

215. はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる……

216. ふふ、ほら、君の……おちんちん、大きくなってる。熱くなってるよ。おいしそう

217. こんなこと言うの変？ちよっと下品だったかなごめんね

218. ずっと……君としたくて……苦しかったんだから。ね、キス、して？

219. ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる……はあっ

220. ズボン、脱がせてあげるね。いいよ、私が脱がせてあげる。

221. (ズボンを脱がせる麻衣)

222. 君の、おちんちん……早く、ちようだい。

223. (拍子抜けな感じで)あっ……あれ。え？ ううん、君のおちんちん、か可愛いなって。

224. 口でしてあげる。え、そんなに驚く？

225. ふふ、フェラくらいで驚かないで、頼まれればいつでもしたのに

226. ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる

227. 気持ちいい？ ふふ、もっとしてあげる。

228. ちゅ……んっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる

229. さっきよりおっきくなったね。ん……もつとしてあげるね。

230. ちゅ……んんっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる

231. うん、いいよ……いれて？

232. んっ……ん？ 全部入った？ そっか。うん。

233. え？ ううん、全然痛くないよ。大丈夫。奥までいっぱい、いっぱい突いていいよ？

234. うん……♡ あっ……♡

235. (以下、パンツパンツとむなしく音が響く)

236. もっと、強くしていいよ？奥の方もっとガンガン突いて？

237. んっ……ふっ……

238. え？ もういくの？ う、うん……いいよ。ねえ、キス、して？ んっ……ちゅ、じゅるじゅる……あっ……

239. ……いった？ そっか。気持ち良かった？ そう……ううん、良かった。

240. ねえ、もうちょっとしようよ。もう一回……だめ？ そう……

241. (ラインの着信音)

242. あっ……ごめん。私、行かなきゃ。バイトの先輩に呼ばれちゃって。

243. ううん。だって君、もうしないんでしょ？ 私……全然……

244. (ハッとなり) ご、ごめんね。もう行くね。

245. (ボタン……とドアが閉まる)

【彼女に蔑まれながらエッチ】

○ (時は流れて……)

246. もしもし？ うん、うん……そうだね、最近ずっと会ってなかったね。久しぶり。

247. 君は？ 元気？ そうなんだ。うん。

248. 明後日の君の誕生日なんだけどさ、何時から来れそう？

249. うん……じゃあ、待ち合わせ場所はあとで送っておくね。

250. ー、秘密。当日のお楽しみだよ。

251. うん……私も、楽しみにしてる。じゃあね。

252. (電話が切れる)

○ ホテル・外

253. お待たせ。ごめんね、急にこんなところ呼び出しちゃって。

254. うん、元気だったよ。君は？……ふーん、そうなんだ。

255. えっと……サークルとかバイトが忙しくてさ……うん。君も忙しそうだったでしょ？

おあいこだよね。

256. まあいいや、行こ。ん？ うん、ご飯食べてきてって言ったでしょ？ ほら早く、歩い

て。こっち。

257. (歩いて行く主人公と麻衣)

258. ほらここ。君が前に、入ってみたいって言ってたホテル。入ろ。

259. え？　なんで？　君が入ってみたいって言ってたんじゃない。

260. うん……ほら、早く。部屋もう取ってあるから心配しないで。

○同・部屋

261. (ドアを開ける麻衣)

262. どうぞ。中入って？

263. はあ……え？　緊張なんてしてないよ。ほら、早く。

264. (ドアが閉まる)

265. ね……こっち向いて？

266. ちゅ……

267. ふふ、びっくりした？　ほら、早く脱いで。セックス、したいでしょ？

268. 気にしないでよ。そのためにここに来たんだから……ほら、ベッドに座って。

269. ちゅ……んんっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅる……ぶはっ

270. あのね、私……せっかくいつもと違う場所だから、特別なことしてみたいんだけど……
いい？

271. ふふ、よかった。

272. (紐(ロープ？)を取り出す麻衣)

273. ね……見て？　これ。なんだと思う？

274. 紐？　うん、正解。これで……何すると思う……？

275. ふふっ……ぞくぞくしてるんだ。ねえ、答えて？

276. ぴんぽーん……正解。そう、君をこれで縛ってあげる。

277. 君、こういうの好きなんだ……へえ、知らなかった。じゃあ、さっそく縛ってくね。

278. ほら、後ろに手回して？

279. うん……手首に、ぐるぐるって巻きつけて……ぎゅってして……どう？　ほどけな
い？　うん、おっけー。

280. ちゅ……んんっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅる……

281. あはは、動けないで興奮してるんだ。

282. じゃあ、足も縛るね……え？　もちろん。手も、足も……しっかり縛ってあげる。

283. はい、体育座りして……足首にぐるぐるってして……ぎゅっ……

284. ふふ、全然動けないでしょ？　えいっ

285. (どんっとう主人公を倒す麻衣)

286. ほら、倒れたら起き上がれないよ。動いても無駄。ぜったいほどけないから。

287. (耳元で) ほら……もう君は、逃げられない。

288. はむっ、じゆるじゆるちゆるじゆるじゆる……

289. さてと……準備完了っ。

290. (スマホのタップ音とか。スマホをいじる麻衣)

291. 何してるのって？ 先輩に、準備出来ましたって報告しただけ。

292. (ドアが開いて、祥吾がやって来る)

293. あっ、祥吾さん来たあ♡ 祥吾さん、言われた通りに準備できてますよ。

294. 君にも紹介してあげるね。この人が、サークルの先輩の祥吾さん。

295. すいでしょ？ 筋肉ムキムキで、君よりもずうっと大きくて素敵なの。

296. ちゅ……んっ……祥吾さん……あっ♡

297. ふふ、チンポの大きさもね、君の粗末なチンポとは比べ物にならないんだから。

298. ふふ、何が何だかわからないって顔してるね。かわいそうだから教えてあげるね？

299. (主人公のそばに寄って)

300. あのね私、この人の……祥吾さんのオチンポにおとされちゃったの。

301. 最初は抵抗したんだけど……無理矢理されてるうちにどんどん気持ちよくなって……
たくさん開発されちゃった。

302. そうだね。君の知らないうちに、変わっちゃったんだよ私。

303. 君のことは好きだったよ。でも、もう……祥吾さんのオチンポなしじゃ私……だめなの。

304. 君と前セックスしたでしょ？君とセックスしながら思ったのあぁもう私のおマンコは
完全に翔吾さん専用おマンコに変えられちゃったんだなあって

305. だって、君のおちんぼ入れられても入ってるのか入ってないのかわかんないんだもん

306. 今日君に来てもらったのは……祥吾さんがね、私が君とエッチしてるってところ見てみた
いって言うから。だから君をここに呼んだの。

307. 祥吾さん、たぶんね……私に、祥吾さんとのセックスと、君との粗末なセックスの違い
を知らしめたいんだと思う。それで、完全に君から私を切り離そうとしてるの

308. 本当は君とエッチするより、祥吾さんのおっきなオチンポでしてもらいたんだけど
……君としないと、祥吾さん、してくれないっていうから……だから、祥吾さんのため
に、今から君とエッチする。

309. せいぜい、私を満足させてね。

310. ふふ、動けないんだから逃げようとしなくていいよ。ほら……君の大好きな、耳。
たくさん舐めてあげる。

311. はむっ……んっ……じゆるじゆるじゆるちゅる……

312. 君、ほんとに耳弱いよね。すぐ感じて、真っ赤になっちゃって。ちよつとでもそのしよ
ぼいオチンポ、おっきくしてよね。

313. はむっ……んっ……じゆるじゆる……ちゅ……じゆるじゆる……はぁ……っ……はぁ
っ……はむはむ……じゆる……はむっ……んっ……じゆるじゆる……ちゅ……じゆる
じゆる……はぁ……っ……はぁっ……はむはむ……じゆる……

314. どう？ ほら……祥吾さんが見てるよ……君の彼女を寝とった男に君の情けない姿見られてるよ悔しくないの？

315. はむっ……んっ……じゅるじゅる……ちゅ……じゅるじゅる……はあ……っ……はあ……はむはむ……じゅる……はむっ……んっ……じゅるじゅる……ちゅ……じゅる……はあ……っ……はあ……はむはむ……はあ……はむはむ……じゅる……

316. ズボン、脱がしてあげるね。

317. うわ……君のチンポ、こんなに小さかったっけ？ 祥吾さんのに慣れちゃってるからそう感じるのかな？……あは、ちっさ……

318. まあいいや。まずはお口でいかせてあげるね。

319. 逃げようとしても無駄だってば。君、今動けないんだよ？ 逃げられないの。わかってるでしょ？

320. はむっ、じゅるじゅるじゅるじゅるじゅる……

321. ぶはっ……あはは、全然ものたりないよ。こんな雑魚おちんちん翔吾さんに仕込まれたバキュームフレアで……すぐいかせてあげるからね。

322. じゅるじゅるじゅるじゅるじゅる……ぐちゅぐちゅぐちゅ……

323. もっと早くするよ？

324. (下品に)

325. じゅるじゅるじゅるじゅるじゅる……ぐちゅぐちゅぐちゅ……

326. いきそう？ いいよ。君のこと、見ててあげる。ふふ、ほらほら、もっと激しくしてあげる。

327. じゅるじゅるじゅるじゅるじゅる……ぐちゅぐちゅぐちゅ……

328. んっ……あはは、精子までしょぼいんだ。

329. (生死を吐き出す) んべえあ

330. ごめんね翔吾さん以外のザーメンは飲むなって言われてるから君のしょぼいザーメンは捨てちゃうね

331. 祥吾さんのはもっとすごいよ。どろどろで、匂いもすごくて、量もザーメンで溺れちゃうくらい多くてすごく美味しいの……

332. え？ 祥吾さんとどれくらいエッチしたのって？

333. たくさん……数えきれないくらい。少なくとも君とシタ数より多いよ

334. ちよっと前に、サークルの歓迎会があったでしょ？ そう。あの時、隣に座ってたのが祥吾さんなの。

335. あのあと、私、二次会なんて行ってないんだ……酔っぱらって寝ちゃって、祥吾さんと一緒に……このホテルに来た。

336. 目が覚めて、逃げようとしたんだけど……祥吾さんにキスされて、ベッドに押し倒されて、それで好きって言われて……そのあとは、朝までハメられまくっちゃった。

337. それから、祥吾さんから連絡がくるたびにエッチするようになったの。祥吾さんのオ

ナホ代わりだったよ。

338. 君に助けて欲しかったけど、でも、祥吾さんには逆らえなかった。何も……言えなかった。

339. 祥吾さんの呼び出されるたびにね、お腹の下らへんがきゅんって疼くの

340. こんなの君と付き合ってるときは感じたことなかった

341. だから、君とのデートの約束、すっぱかす日が多かったでしょ？

342. あれ、ぜーんぶ祥吾さんとエッチしてたんだ……。

343. 水族館に行こうって約束したあの日も……待ち合わせ場所に行こうとしたら、祥吾さんからラブホに呼び出されちゃったから……

344. 君との約束よりも将吾さんとのエッチを優先しちゃった

345. だって君とデートするよりも翔吾さんとケモノみたいなセックスする方が刺激的だったから

346. 祥吾さんのところに着いたら、君から電話かかってきてさ。祥吾さんが、そのまま出ろっというから……。

347. そしたら急にオチンポ突っ込まれて、すっごい気持ちよくなっちゃった。大変だったよ、音もぜんぶ君に聞こえちゃってたでしょ？ きづいてた？ それでも、気付かないフリしてたのかな。ふふ、どっちでもいいや。

348. そう、君が水族館で待ってる間私たちはずっとセックスしてたの

349. 待ち合わせ場所で待ってる君のことなんか忘れてね

350. 君と電話しながらしたセックス気持ちよかったなあスリル満点で

351. だからね私、祥吾さんのオチンポが欲しいの……祥吾さんにめちゃくちやにされたいの……翔吾さんのオチンポにオマンコしてもらうために

352. 君を気持ちよくさせてあげないといけないの……だから私のお願い聞いてくれるよね？

353. ちゅ……んんっ……はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる……

354. 君も私のこと、初彼女だって言ってたよね？ じゃあきつと、ここも初めてだよね……お尻の穴。アナル♡

355. 隠そうとしたって無駄だよ？ 丸見えだって。舐めてあげるね君のアナル。ああ気にしなくていいよ、翔吾さんとするとき毎回アナル舐めてるから

356. ちゅ……じゅるじゅるじゅる……

357. うん、そうだね……すっごい汚いよ……

358. じゅるじゅるじゅるじゅるじゅるじゅる……

359. 汚いところ見られて、舐められて、恥ずかしいのに……感じてんだ。ふふ、ほんと君って、かわいそう。

360. じゅるじゅるじゅるじゅるじゅるじゅる……

361. ふふ、君のアナル、すごいひくひくしてるよ。恥ずかしい？ もっとしてあげる。

362. ちゅ……じゆるじゆるじゆる……

363. うふふ、さっきのフェラも、このアナル舐め奉仕も、ゼーんぶ祥吾さんに仕込まれたんだ。気持ち良かったでしょ？

364. ほら、あはは、君の粗末なおチンポ……ガチガチにぼつきしてる……。

365. みてる？翔吾さん、翔吾さんに教えてもらったアナルなめで彼氏こんなに気持ちよさそうにしてる、あはは情けないよね

366. そろそろおまんこいれてあげるね。ほら、仰向けになって。

367. 私が上に乗って、たくさん気持ち良くしてあげるからね。

368. 祥吾さん、私たちのおままごとセックス見ててくださいね？

369. いれるよ？ 一気に、上から……いくよ。

370. んっ……はあ……ゼーんぶ簡単に入っちゃった。

371. 最初にセックスしたときは、あんなにキツかったのにね。もう私のオマンコの形翔吾さんのオチンポの形にされちゃった証拠だね……♡どう？ 彼女を寝とった男に見られながら無理矢理される気分は？

372. オチンポ気持ちよくさせる腰の動かし方も、ゼーんぶ祥吾さんに仕込まれたから、安心して？ ぜったい気持ち良くしてあげるから。

373. 私との最後のセックスになるかもだからしつかりそのチンポで味わってね

374. んっ、んっ、んっ……はっ……はっ……んっ、んっ、んっ……はっ……はっ……んっ、んっ、んっ……はっ……はっ……

375. イキそうになったら、ちゃんとゴムの中に出してね。生は翔吾さん限定だから、ふふびつくりした？祥吾さん、コンドームつけてくれないからさ、やるときはいつも生エッチなんだあふふピル飲んでからヘーき。君が気にすることじゃないよ

376. んっ、んっ、んっ……はっ……はっ……いきそ？んっ、やっぱはやいね……いいよ……だして……んっ、んっ……はっ……はっ……んっ、んっ、んっ……はっ……はっ……

377. あ、もう射精してたの？全然気づかなかった ふーん……じゃあ、君とのセックスは、これでおしまいだね。

378. 祥吾さん、私と彼氏のセックス、ちゃんと見てました？

379. はい……私、はやく祥吾さんのオチンポ……ほしいです。

380. 彼氏との生殺しセックスのせいで私のオマンコぐちゅぐちゅに発情しちゃってるんです

381. んっ……いつもみたいにやってみろって……わかりました……

382. こんな情けない彼氏の粗末チンポじゃなくてご主人様の逞しい……雄オチンポで、麻衣の雑魚オマンコぐちゅぐちゅに犯して欲しいです……

383. ありがとうございます、ではまず舌でご主人様のオチンポ綺麗にお掃除させて頂きませ……す……

384. (祥吾のズボンを脱がす麻衣)

410. おおお、祥吾さんの、凶悪オチンポきたあっ♡

411. おおっ♡はあ♡はあ♡君・・・みてるう？

412. これが本物のセックス・・・♡雄と雌の交尾だよ♡雌は逞しい雄に屈服するように遺伝子で決まってるの・・・♡だから君より翔吾先輩の方が優秀な雄だったってだけ・・・

413. だって先輩とのsexに比べたら君とのsexなんてただのおままごとだもん・・・

414. あ・・・先輩イきそうなんですか？はい・・・そのまま生で私の子宮にびゅーびゅー種付けしてください・・・♡

415. え・・・どうしてオチンポ止めちゃうんですか？

416. 私のオマンコもうイク寸前だったのに

417. オチンポを動かして欲しかったら、彼氏の前で誓え・・・？

418. はあ・・・♡彼の前でそんなひどいこと・・・♡でも誓わないと翔吾さんオチンポしてくれないんですもんね・・・わかりました・・・♡

419. 君・・・よく聞いててね・・・♡

420. 私・・・今から本当に先輩に堕とされちゃうから・・・

421. 私・・・神山麻衣は祥吾さん専用のオチンポセフレになります・・・♡

422. どんな時でも先輩に呼ばれたらオマンコしにいく都合のいいセフレオマンコになります・・・♡

423. だから、私のおまんこに、祥吾さんのザーメン一杯中出ししてください♡

424. あっすごい・・・♡先輩のオチンポ今までにないくらいカチカチにボッキしてる・・・♡

425. 彼氏の前で私にセフレ宣言させて興奮したんですか・・・？

426. ああ・・・すご・・・はげし・・・っ

427. ああ・・・いく・・・いっちゃう・・・♡翔吾さんのオチンポで・・・彼氏の前で・・・

428. 中出しされていっちゃううう♡

429. はあ♡はあ・・・♡すごい・・・♡ おまんこのなか、祥吾さんのザーメンでいっぱい・・・♡ドロドロ私のオマンコから溢れてくる・・・♡

430. えう・・・はい、わかりました。祥吾さんのオチンポのためなら・・・なんでもやります。

431. ねえ君、キスしよ？ ほら、こっち向いて？ 祥吾さんがしろって言うんだもん・・・ほら。

432. ちゅ・・・んんっ・・・はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる・・・

433. んっ♡ ちゅ・・・んんっ・・・はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる・・・

434. あっ♡ 祥吾さんのオチンポ、奥まで入ってくる♡ あ・・・はあはあはあ♡

435. ふふ、君とキスしながら翔吾さんのオチンポ入れられちゃってる・・・♡

436. 他の男にオチンポいれられてる彼女とキスするのってどんな気分？

437. んっ♡ ちゅ・・・んんっ・・・はむっ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅる・・・

438. え・・・今そんな質問・・・されたら・・・♡

439. あ・好き・・・♡好きです・・・翔吾さんの方が・・・♡彼氏よりも好きです・・・♡

440. (耳元で) はっ♡ 祥吾さん♡ も、だめ……いっちゃ……いっ……いくっ♡♡
441. はあはあ……君とキスしながら、祥吾さんのオチンポでいかされちゃった……♡

442. _____

【エピソード】

443. あっ♡ あっ♡ はあ♡ もっとおお♡
444. 祥吾さんの、おちんちんでっ♡ めちゃくちゃにしてください♡ はあはあはあ、
いっ♡ いっ♡ いっちゃ……♡ あっ♡

445. _____

446. はあはあ……今日も失神寸前までイカされちゃった♡ 私たち本当に身体の相性抜群です
ね。はい。今日のシフトも、祥吾さんと一緒ですよ。いつもみたいに他の人たちに隠
れて裏でこっそり、えっちしてくださいね♡

447. ……ああ、アンタまだいたの？ あは、まだぼつきしてんだ。こーんな粗末なオチンポ、
ギンギンに硬くして……

448. 縛ってるの、取ってあげるから黙ってて。

449. これでよし。じゃあ、私達もう行くね。あ、そうだ、君誕生日だったよね……プレゼント
トあげる。

450. ほら、先輩のザーメンが一杯ついた私のパンツ。

451. ふふ、これで、家に帰って一人で情けなくシコシコオナニーすれば？

452. じゃ、もう私のことは忘れてね。ばいばい。

【番外編：デートの待ち合わせに現れない彼女】

○ホテル・部屋

453. (ドアが開いて、入ってくる麻衣)

454. 祥吾先輩……なんですか？ ラブホに來いなんて、急にラインしてきて……。

455. 今日は彼氏と水族館行く約束してるって、言っていましたよね？

456. じゃあなんでここに來たのかって？ だって先輩の呼び出し無視したら、私の彼氏に
バラすって言うから……仕方なくですよ……。

457. 今日だってさっさとやることをやったら彼氏のところに行きますから

458. あの歓迎会の時は、お酒で酔っただけです。先輩と一緒にホテル行きたかったから
なんて、思うワケないじゃないですか。

459. 彼氏には、いくら私がお酒飲みすぎたからって、さすがに……サークルの先輩と寝ちゃ
ったなんて、言えないですから……私、彼のことが大好きなんです……嫌われたくないん
です……。

460. だから今日だって、ここに来たのは、彼氏にバラされないため……彼と一緒にいるために……そのために来たんです。

461. ……え？ いえ、だってラインにはいつも、『来なかったら彼氏にバラすって』書いてあるじゃないですか……だから私……。

462. (スマホのタップ音)

463. ほんとだ……『ラブホにいる』……それしか書いてない……

464. でも、私はっ……

465. やめてください、違います……！ 私が祥吾先輩との……エッチを……期待して来たなんて、そんなこと絶対にありえないですっ。

466. 彼氏との約束より、先輩を優先するなんて絶対にないですよ。それに、エッチを期待してなんて、そんなこと……絶対ありえない……。

467. なんですか先輩……ニヤニヤして……私をからかって、楽しんでるんですね。最低……

468. (麻衣を押さえ、突然キスする祥吾)

469. きゃっ！？ んっ……ちゅ、じゅるじゅるちゅるじゅるじゅ……はあっ、やめてくださっ……いきなり、キスなんてっ……

470. ちゅ、じゅるじゅるちゅるちゅるじゅるじゅ……

471. (衣擦れの音。麻衣の服を剥ぐ祥吾)

472. やっ……やめて、やめてくださいっ……彼氏が待ってるんです……私、行かなきゃ……やめて……あっ！？♡

473. やだ……そこは触らないで……いや……んっ、あっ……

474. 濡れてなんか、ないです……期待してなんか……ないですから……いや、やめて……

475. んっ♡ はあ……あっ♡ んっ、はあはあはあ……

476. (出て行くこうとする祥吾)

477. あ……あれ、え……？ 先輩、帰るんですか？ 終わり……ですか？

478. 今日は、その……エッチしないんですか……？

479. そんなの……先輩が呼び出したのに……

480. 違います！ だって……先輩に呼び出されて、エッチしないなんて今まで無かったから……

481. 残念そうになんかしてないですよ！ わ、私も帰ります！ 早く彼氏のところ、行かないと。

482. は……？ なんで私がそんなこと言わなきゃいけないんですか……言えないですよ、そんな、言葉……。

483. っ……言わないと、全部彼氏にバラすって……いつも先輩はそうやって……ひどい……

484. ……しょ、祥吾先輩の……おちんぼ……私……祥吾先輩のおちんぼが……ほしいです……お願いします……

485. わ、私が言ったんじゃないですからね……先輩に、無理矢理言わされただけですからね……。

486. (ズボンを脱ぐ祥吾)

487. わ……先輩の……いつもよりおっきい……。

488. う……はい、分かってます……この間教えてもらった通りにやりますから……。

489. せ、先輩の……おっきなおちんちん……ま、麻衣のお口で、綺麗に……お掃除させて、ください……。

490. 先っぽから……はむっ……じゆるじゆるちゆるじゆるじゆる……

491. んっ……はあっ……根元から、丁寧に舐めて……じゆるじゆるちゆる……

492. はむっ……じゅぽじゅぽじゅぽ……

493. あっ……はい……この間言われたとおりに、やっています……喉の奥まで、しっかり咥えて……。

494. (無理に麻衣の喉奥を突く祥吾)

495. んんっ!?! んっ、おえっ、じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ……

496. やっ……じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ……おえっ……げほげほっ。

497. はあはあはあ……は、はい……分かりました……。

498. はむっ……んっ……おえっ……じゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽじゅぽ……。

499. はあっ、はあはあはあ……先輩っ……う……早く、入れて欲しいです……

500. う……先輩のおちんちんで……麻衣の……おまんこ、めちゃくちゃに……してください……い……。

501. んんっ!?! あっ♡ はあっ……う……先輩の……すごいキツイ……奥まで当たっている……あっ……はっ、はあはあはあ♡

502. だめっ♡ それ以上速くしたら……んっ♡

503. あっ♡ はあはあはあ……だめええ♡ 中、出しちゃだめっ♡ あーっ♡

504. はあはあ……すごい、先輩のおちんちん……中ですごいびくびくしてる……♡

505. バ、バックですか? そんな、今いったばっかなのに……。

506. はい……後ろから、思いつきりぶち込んで下さい……っ。

507. んあっ♡ あああっ♡ だめええ♡

508. すっごいところ♡ 当たっている♡ んっ、あっ……はあはあはあ♡

509. いっ……いっちゃ……♡ やめてえ♡ いっちゃう♡ いくっ……あっ……いくうう♡

510. ううっ……はあはあはあ……頭、真っ白で……体、あっつい……♡ びくびくしちゃ……止まらない……んっ……はあはあ♡

511. (主人公からの着信音)

512. あ、電話……

513. 彼氏だ、そうだ水族館で待ち合わせの約束だった

514. え？ 電話にでろ？

515. ここで……いまだですか？ は、はい……分かりました……。

516. 先輩……静かにしてくださいね。彼氏にバレたら、私……

517. 絶対ですよ？……はい、良かった。ありがとうございます。

518. (スマホのタップ音)

519. ……もしもし、私だけど。ごめんね、ちょっと家族の用事があって遅れそうなの

520.

521. あっ……ちよっと先輩……そこは……お尻……ついごめん大丈夫だか……はあっ、あっ、
はあはあはあっ……おほっ♡

522. ……ごめん本当に大丈夫だから、ちよっと風邪気味みたい

523. うん……はあ♡ごめんね1時間くらい待たせちゃって……はあはあ……おほっ♡うん
すべいくっから♡

524. ちよっと待っててねおっ♡き……きるね

……あっ、あっあっ♡ んっ♡ はあはあはあ……あっ、おっおほっ♡ おっ♡

525. いっ♡ いっちゃ……♡ いぐ……いっ……♡♡じゃまた……後でえっ

526. (ピッツと電話が切れる)

527. おっおほっ♡おっ♡ひどいです先輩……何もしないって、言ったのに……

528. だめええそこはオチンポ入れるところじゃないから だめっ♡ おほっ♡なっなんで
こんあきもちいいのっ♡いぐっお尻でいっちゃう♡

529. はあはあはあっ……♡ んああああっ♡

530. すごいっ♡ 先輩のザーメンで、私のお尻溢れちゃってる……♡

531. はあはあ……あ……二回も……いっちゃった……だめ……おかしくなっちゃう……。

532. え？ 先輩……なんですか……？

533. そんなこと……

534. 分かりましたから。だから、彼氏には絶対バラさないでください。

535. わ、私が言ってるんじゃないですからね先輩に言わされてるだけですから……。う……
私神山麻衣は、祥吾先輩とセックスしたくて、自分からラブホに……来ました。

536. ……これで満足、ですか？ 祥吾先輩……。

537. え？この後どうするかって？

538. もちろん彼氏のところに行きますよ、水族館で私を待っていてくれるんですから

539. あっ……んっじゅるちゅるじゅるちゅるじゅる

540. ちよっと……いきなりキスしてもだめです私は今すぐ彼氏のところに行くんですから

541. あっ……♡先輩のオチンポぎんぎんに硬くなってる……

542. このオチンポとこのまま徹夜でセックス？

543. っくり……

544. こんなオチンポで寝ないで責められたら……

545. わ・・・わかりました・・・

546. 彼氏には・・・デートの断りの電話をしておきます・・・

547. だから・・・

548. 翔吾さんのそのオチンポで真衣のオマンコ・・・一杯いじめてください・・・♡

549. 今日が・・・本当に最後ですから

550. (ごめんね・・・でも今日だけ・・・今日だけだから)